

目指せハッカリ王子 本格スタート

ゴルフ部が

昨年5月に15人の仲間とスタートしたゴルフ同好会が部に昇格し、2011年シーズンからの学生ゴルフの主要競技会に出場する。ゴルフ暦30年、シングルハンドの谷川尚己准教授が指導するゴルフ部は、ほとんどが入部してからクラブを握ったという初心者の集まりだが、30人の部員は谷川准教授の指導でメキメキ腕を上げていく。毎週一回、堅田の練習場で谷川准教授の手ほどきを受けるほか、大学近隣の比良カントリークラブでクラブも重ねている。関西学生連盟の競技会は、蒲生や日野など滋賀県内のゴルフ場が会場になることも多い。普段から近隣のゴルフ場で練習してコースに慣れてお



谷川准教授の手ほどきを受ける部員

ければ、地の利を活かせるという。また、競技会の参加によって、ゴルフの醍醐味やプレーの繊細さを体験することで競技としてのゴルフの奥の深さを知ることができるといふ。谷川准教授は「400年を超える歴史のあるゴルフは、伝統と礼節を重んじるスポーツで、ゴルフを楽しむことで得た経験は、社会にでも必ず活かせる。生涯スポーツとして継続してくれる事も望んでいる」と新生クラブに期待をかける。2016年のリオデジャネイロ五輪でゴルフは正式種目に採用され、スーパースターのタイガーウッズや人気者、石川遼らトッププロが五輪参加に意欲をみせる。びわろからも第2の石川を目指す新星が誕生するか。

サッカー部

湯田 逸友

部員数は全国でもトップクラスといわれる2000人の大所帯。創部からのスローガンは「日本一」のタイトルだが、ここ2シーズン低迷が続いている。昨シーズンも全国大会出場の間をこじ開けられずに関西学生リーグは8位。明るい材料は1年次生のFW松田力がチーム最多の7ゴールで

陸上競技部

井上 友里

去年の5月に開催された第87回関西学生陸上競技対抗選手権大会。上位2位のチームは1部昇格が決まるこの大会で、悲願の「男子1部昇格」を果たした。トラックの部、混成競技の部ではともに1位。フィールドの部では2位。フィールドの部の差が明暗を分け1位の摂南大学とわずか3点差。敗れたものの、堂々の2位である。「一人ひとりの成長が団体戦として結果に現れた」と主将の井上。同大会の女子個人種高跳びでも4回生の的場が3メートル70という記録で大会2連覇を成し遂げた。

ソフトテニス部

横田 康平

ここ数年着実と力をつけてきているソフトテニス部。2006年に関西学生連盟に加盟して以来、順調に結果を残してきた。今季も男子は春・秋の2つのリーグ戦を通して2リーグ昇格、女子は春のリーグで1リーグ昇格を果たした。高校で実績を残す選手もおり、力としては申し分ない。来シーズンもさらなる飛躍が期待できるだろう。しかし、リーグ戦で結果を残してき

女子バレー部

岸本 真理子

一時、3部降格の危機もあったが、チーム一丸となつての部残留することができた。ホームゲームでびわこの力を最大限に発揮出来たのは、周りの人達・仲間のおかげである。また、応援のありがたみを感じることが出来た。部昇格を目指します!!

女子バスケットボール部

渡辺 怜奈(主務)

「キラキラ」したチーム。これが今年度の女子バスケットボール部の目標である。試合の勝ち負けでなく、負けても自分たちの全力を出し切る充実を大切にしたい。この方針がチームにマッチしたのか、今季のリーグ成績

男子バスケットボール部

関岡 綾子(主務)

6月上旬に行われた西日本バスケットボール選手権大会で、創部以来初となるベスト16へと進出し勢いを付けていた男子バスケットボール部。昨シーズンのリーグでは3部降格と悔しい想いをしていたので、今年はこの勢いに乗って2部へ帰るの期待も膨らんでいた。しかし、入れ替え戦までコマを進め2部8位の関西外国語大学との2部の座を懸けた1戦。結果は79-86と負けを喫した。

た一方で、個人戦においては結果を残せず苦しい思いの1年となった。来シーズンは、リーグ昇格とともに個人戦でも結果を残せるように頑張りたいと明日を見据える。

女子ソフトボール部

上原 花奈恵

「西日本で一勝」去年、初出場を果たした西日本大学ソフトボール選手権大会。去年は達成できなかったこの目標を引き続き掲げての今季、それは達成された。東海リーグ2部4位の名古屋大学を相手に7-0でくだして初戦突破。2回戦目の

女子サッカー部

石田 春香

今春、部への昇格に向け、

水泳部

石端 真和

去年1部昇格を果たした水泳部の今季。男子は1部に残留したが、女子は2部に降格と悔しい結果となった。やはり1部のレベルは高く、一人ひとりがより個人の力を上げずしては1部に踏みこまざるは難しい

硬式テニス部

馬淵 亜紀子

昨年の関西学生テニスリーグ戦は男子3部降格、女子3部残留という結果のテニス部。力を出し切れぬ結果となった。しかし、新チームがスタートしてからの個人戦では男女とも自己の最高記録を上回る結果も出している。4期生で本学の研修生でもある樋口も7月に行われた第79回東海中日テニス選手権大会で優

あと一歩届かず、惜しくも3部A残留となった。来シーズンは、今年主力として戦ってきたメンバーが3人残る。ポイントゲッターの高島を中心に来シーズンこそ2部昇格を掴み取ってほしい。

柔道部

中根 政貴

合言葉は「みんなが武道館」。武道館への道のり厳しさを誰よりも知っている村田先生の指導のもと、日々激しい稽古に取り組む。昨年度は10人未満という少

ない部員数での活動であったが、今年度は人数も倍増し今度以上に熱のこもった稽古を行うことができた。期待のルーキー1年の田中が7月に行われた近畿ジュニア柔道選手権大会男子60kg級でベスト4、同じく7月に行われた滋賀県柔道体重別選手権大会では優勝。また、同大会の女子70kg級では2年の森が優勝を果たすなど、下級生の活躍が見られた。来年度こそ「みんなが武道館」を達成するため柔道部一丸となって取り組むたいと、主将の中根を

勝る活躍を見せチームを鼓舞する。熱き植田先生の指導の下、新1年次生を含めた男女全員で気概を持って今日も厳しい練習に取り組んでいる。

よつだ。そんな中、去年の第86回日本学生選手権水泳競技大会のインカレには、22人が本学の水泳部から出場。今までの最多人数である。大会では2年の横江が男子背泳ぎ1000m、2000mで準決勝進出、1年の辛島も女子背泳ぎ2000mで準決勝に進んだ。水泳部のチーム目標は「全員インカレ出場。目標を達成するとともに、男子は新しい1年が始まった。

去年より上位に、女子は再び1部昇格を目指し、この新しい1年が始まった。中心に団結している。



4年次生佐藤	男子100m平泳ぎ
2年次生横江	男子50m、100m、200m背泳ぎ100m、200m準決勝進出
1年次生辛島	女子50m、200m背泳ぎ200m準決勝進出
22名出場	今まで最多である。
チームの目標は「全員インカレ出場」	



大家選手を招いて少年野球教室で飯田学長も子どもたちと記念撮影



リーグ参加を目指して猛練習の女子サッカー

春のデビュー 女子サッカー

目指せ1部復帰 硬式野球部

「再建にかける」
 今年の京滋大学野球秋季リーグで1部復帰を逃した硬式野球部。待望のグランド完成や再建の期待を担って元プロ野球選手の本郷宏樹氏が12月13日に監督に就任し、2011年シーズンに飛躍をかける。

日本学生野球協会審査室で認められた本郷監督は、12月16日から新グランドで陣頭指揮に立った。大学野球、プロ野球・ヤクルト時代に巧打、堅守の選手として活躍した指揮官は、打撃も守備も密度の濃い練習メニューを取り入れている。「久しぶりにノックバットを振るったが、鍛えたら楽

夕闇が迫るマルチフィールドでボールを追う女子の元気な声が弾む。部員12人、サッカーができるギリギリの所帯である。昨年サッカー好きの女子が集まって同好会を発足させ、4月に正式なクラブ活動として関西学生女子リーグでデビューする。

男子サッカー部の3年生、立花大佑君がコーチを引き受け、毎週火、木曜日午後、練習に励む。経験者

2010年シーズン主なクラブ活動成績

▽女子ソフトボール 1次予選リーグ

日時	対戦相手	得点	対戦相手	結果
9月26日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	12-0	奈良教育大学	3回コールド
		10-0	佛教大学	4回コールド
10月2日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	10-0	大阪府立大学	4回コールド

2部リーグ 3位

日時	対戦相手	得点	対戦相手	結果
10月10日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	4-0	奈良教育大学	
10月11日(月)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-10	大阪体育大学	3回コールド
		8-3	兵庫教育大学	
10月16日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-10	龍谷大学	3回コールド
		9-1	四天王寺大学	5回コールド

▽アルティメット 女子 全日本学生選手権大会(5位)

日時	対戦相手	得点	対戦相手	結果
9月2日(木)	びわこ成蹊スポーツ大学	10-4	國學院大学	
		6-8	宇都宮大学	
9月3日(金)	びわこ成蹊スポーツ大学	17-6	日本大学	
		15-6	関西学院大学	

全日本学生新人選手権大会(4位)

日時	対戦相手	得点	対戦相手	結果
11月6日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	7-1	瀧協大学	Gリーグ1位通過
		11-1	昭和大学	
		7-1	静岡大学	
		7-2	横浜国立大学	
11月7日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	5-2	中京大学	
		2-6	大阪体育大学	
		3-5	龍谷大学	

▽水泳 男子競泳 第86回日本選手権水泳競技大会

選手	種目	記録	順位
横江 諒一	男子100m背泳ぎ	56.70	準決勝12位
	男子200m背泳ぎ	2.02.96	準決勝14位

▽陸上競技部 男子 関西学生陸上競技対校選手権大会(男子2部総合2位、1部昇格)

選手	種目	記録	順位
細見 勇介	110mH	14.84	1位
丸尾 知司	10000mW	44.46.93	1位
福井 哲成	4x400m	3.13.05	1位
佐治 祐貴			
東野 誠道			
田中 竜太			
門田 拓也	走り高跳び	2m08	1位
南部 祐斗	円盤投げ	43m17	1位

西日本学生陸上競技対校選手権

選手	種目	記録	順位
丸尾 知司	10000mW	44.40.55	1位

女子

選手	種目	記録	順位
的場 遥	女子棒高跳び	3m70	1位

▽バレーボール 男子 関西バレーボール連盟秋季リーグ戦(2部) 1次リーグ

日時	対戦相手	セット数	対戦相手
9月11日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-2	同志社大学
9月12日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-3	京都産業大学
9月18日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-2	神戸学院大学
9月19日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-2	成美大学
9月23日(木)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-3	天理大学
9月25日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	2-3	大阪学院大学
9月26日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-3	佛教大学

2次リーグ 2部5位

日時	対戦相手	セット数	対戦相手
10月10日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-2	神戸学院大学
10月11日(月)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-2	成美大学
10月24日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-1	佛教大学

女子 関西バレーボール連盟秋季リーグ戦(2部) 1次リーグ

日時	対戦相手	セット数	対戦相手
9月11日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-3	神戸学院大学
9月12日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-3	園田女子大学
9月18日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-1	大阪大谷大学
9月19日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-3	天理大学
9月23日(木)	びわこ成蹊スポーツ大学	1-3	滋賀短期大学
9月25日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	2-3	関西大学
9月26日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-0	佛教大学

2次リーグ 2部6位

日時	対戦相手	セット数	対戦相手
10月10日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-1	関西大学
10月11日(月)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-1	佛教大学
10月24日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	2-3	大阪大谷大学

▽柔道 男子 近畿ジュニア体重別選手権大会 60kg

選手	対戦相手	結果
田中 克尚	2回戦 渡辺(兵庫県)	判定勝ち
	準々決勝 松本(奈良県)	優勢勝ち
	準決勝 西尾(奈良県)	判定負け
	代表決定戦 大石(大阪府)	優勢負け

▽サッカー部

順位	チーム名	勝点	試合	勝数	分数	負数	総得点	総失点	得失点差
1	阪南大学	55	22	18	1	3	72	19	53
2	関西大学	41	22	12	5	5	49	23	26
3	立命館大学	41	22	12	5	5	45	26	19
4	桃山学院大学	38	22	11	5	6	41	25	16
5	同志社大学	38	22	11	5	6	41	26	15
6	近畿大学	35	22	11	2	9	30	26	4
7	関西学院大学	34	22	10	4	8	36	33	3
8	びわこ成蹊スポーツ大学	28	22	8	4	10	31	36	-5
9	大阪学院大学	26	22	7	5	10	30	37	-7
10	大阪産業大学	19	22	5	4	13	25	53	-28
11	関西国際大学	12	22	3	3	16	15	63	-48
12	甲南大学	6	22	1	3	18	13	61	-48

▽硬式野球部 京滋大学野球連盟 秋季リーグ戦 2部(3位)

日時	対戦相手	得点	対戦相手
9月1日(水)	びわこ成蹊スポーツ大学	5-5	京都工芸繊維大学
9月2日(木)	びわこ成蹊スポーツ大学	5-2	京都工芸繊維大学
9月14日(火)	びわこ成蹊スポーツ大学	11-1	京都外国語大学
9月15日(水)	びわこ成蹊スポーツ大学	15-1	京都外国語大学
9月25日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	0-5	滋賀大学
9月26日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	8-2	滋賀大学
10月2日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	5-1	京都府立大学
10月3日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	6-2	京都府立大学
10月10日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	2-3	滋賀県立大学
10月11日(月)	びわこ成蹊スポーツ大学	3-5	滋賀県立大学
10月16日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	13-1	京都薬科大学
10月17日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	11-3	京都薬科大学

▽バスケットボール部 男子 西日本学生選手権(ベスト16)

日時	対戦相手	得点	対戦相手
1回戦 5月31日(月)	びわこ成蹊スポーツ大学	100-75	愛知学院大学
2回戦 6月1日(火)	びわこ成蹊スポーツ大学	101-94	九州国際大学
3回戦 6月2日(水)	びわこ成蹊スポーツ大学	108-107	九州共立大学
4回戦 6月3日(木)	びわこ成蹊スポーツ大学	72-92	大阪産業大学

関西学生リーグ戦(3部) 1次リーグ

日時	対戦相手	得点	対戦相手
8月28日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	100-78	神戸学院大学
8月29日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	79-62	大阪教育大学
9月11日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	66-61	阪南大学
9月12日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	75-66	神戸大学
9月18日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	80-65	大阪市立大学
9月19日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	92-54	摂南大学
9月20日(月)	びわこ成蹊スポーツ大学	74-77	京都教育大学

2次リーグ 3部優勝

日時	対戦相手	得点	対戦相手
9月23日(木)	びわこ成蹊スポーツ大学	72-67	大阪教育大学
9月25日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	101-70	摂南大学
9月26日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	92-68	京都教育大学

入れ替え戦 3部残留

日時	対戦相手	得点	対戦相手
11月7日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	79-86	関西外国語大学(2部8位)

女子 関西学生リーグ2部 1次リーグ2位

日時	対戦相手	得点	対戦相手
8月21日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	62-58	大阪国際大学
8月22日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	85-59	佛教大学
8月25日(水)	びわこ成蹊スポーツ大学	55-67	奈良産業大学
8月30日(月)	びわこ成蹊スポーツ大学	59-52	関西大学
8月21日(火)	びわこ成蹊スポーツ大学	76-71	滋賀短期大学

2次リーグ 4位

日時	対戦相手	得点	対戦相手
9月4日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	63-97	大阪教育大学(B1位)
9月5日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	52-82	園田女子大学(B2位)

関西学生秋季トーナメント(3位)

日時	対戦相手	得点	対戦相手
10月31日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	86-63	京都学園大学
11月3日(祝)	びわこ成蹊スポーツ大学	80-68	京都大学
準決 11月6日(土)	びわこ成蹊スポーツ大学	63-77	関西大学
3決 11月7日(日)	びわこ成蹊スポーツ大学	69-55	園田女子大学



ベテラン澤選手と金メダルの記念撮影



躍進中国を象徴する選手村の食堂はいつもにぎわう

「史上初のうれしさ以上にホッとしたというのが、本音でしょうか。開口一番、激戦といわれた金メダルまでの道のりを振り返った。なでしこジャパンのコーチに就任して3年目、2008年の北京五輪ではあと一歩でメダルを逃して4位に終わり、雪辱をかけて中国に乗り込んだ、という。予選から苦しい戦いでしたね。」

「日本はB組でタイ、北朝鮮と戦って1勝1分け。得失点差で1位通過しましたが、準決勝では強敵中国に延長で1-0で粘り勝ち。この勢いと粘りの自信が北朝鮮の決勝で美を結んだ。アジア大会など中国で行われる国際大会には、対日感情という政治的な複雑な問題が影を落としますが、今回の大会ではそれほど影響はなかった。」

「大会開幕にあわせるように尖閣諸島を巡る問題が起こり、選手村や大会会場でも中国の姿は？」

「選手村ではたくさんボランティアがいましたが、日本語で話しかけてくる若い人がたくさんいました。予想外に親日的に映りました。選手村の生活で例えば、メールがなかなか送れなかったり、問題になっていたり、Uチーフの映像はやはり見ることが出来なかった。広州は北京、上海に次ぐ中国第3の大都市といわれていますが、こうした近代化とは逆に生活は不都合な面が結構ある。やはり一党支配というお国の違いでしょうか。アジア大会に限らず中国の試合では依然として根強い対日感情がある。中国戦は当然ですが、日本が他国と対戦すると中国の人たちは、みんな日本の相手を応援する。もちろん日本にはブライニングです。」

「春の欧州遠征からW杯前には米国で合宿。世界一の米国と練習試合もこなしてドイツ大会に備える。なでしこの選手は、ベテランと若手がいい具合に新旧交代が進んでいるうえ、代表にはドイツやフランスなど海外でプレーして選手も増えた。国際経験を積むことでタフな選手が多くなり、北朝鮮の決勝でも、走り負けたり、フィジカルで苦しめられたりしたが、日本はコーナーキックのチャンスを実に得点に結びつけるうまさ、したたかさ、この底力に自身、W杯で大きな期待をかけています。」

「中国は男子の元ナショナル代表が監督になり、それまでのわがままなチームからまとまった組織プレーができるようになった。北朝鮮は個人技に優れ、スピード、フィジカルでも日本を上回る。そして粘り強い韓国。ベトナムやタイなども含めてアジアの女子サッカーはどのくらい指導者が出てきて、サッカーの知識が選手にも浸透し始めた。個人から組織のチームに変わりレベルは急速にあがっている。いままでは以上に厳しい戦いになる。」

「6月にドイツW杯。アジアナショナルのなでしこジャパンには、メダルの期待がかかりますが」

「あなたは日本や国際社会の動きにこれだけ関心をもっていますか。情報発信と倫理の講義を受講する50人(2~4年生)から2010年のできごとベスト10を選んでもらった。1位は日中関係に暗い影を落とした尖閣諸島を巡る領土問題で13人がトップニュースにあげた。Uチーフに中国漁船が海上保安庁の巡視艇に衝突する映像が流れるなど情報氾濫時代といわれる現代社会の問題が大きくクローズアップされた。また、領土問題では、ロシアとの北方4島(歯舞、色丹、国後、択捉)を巡り、メドベドフ大統領が旧ソ連時代以来の最高指導者として初めて国後島を訪問するなど実効支配を主張するロシア政府と4島返還を要求する日本政府との方針に大きな隔たりがあることや講義でも取り上げた内部告発サイトのウイキリークス問題などメディアで大きく取り上げられた国際ニュースには多くの学生が関心を寄せた。」

広州アジア大会の金メダル

なでしこジャパン 望月聡コーチに聞く

(競技スポーツ学科情報戦略コース准教授)

「春の欧州遠征からW杯前には米国で合宿。世界一の米国と練習試合もこなしてドイツ大会に備える。なでしこの選手は、ベテランと若手がいい具合に新旧交代が進んでいるうえ、代表にはドイツやフランスなど海外でプレーして選手も増えた。国際経験を積むことでタフな選手が多くなり、北朝鮮の決勝でも、走り負けたり、フィジカルで苦しめられたりしたが、日本はコーナーキックのチャンスを実に得点に結びつけるうまさ、したたかさ、この底力に自身、W杯で大きな期待をかけています。」

びわスポ生が選んだ 2010年の10大ニュース

NEWS トップは領土問題

- 1 尖閣諸島問題
- 2 北朝鮮問題
- 3 南アのW杯で日本がベスト16
- 4 ウィキリークス
- 5 裁判員制度
- 6 普天間移転問題
- 7 たばこ増税
- 8 早大・斉藤佑樹らプロ入り、「仲間」が流行語に
- 9 鳩山辞任、菅政権発足
- 10 史上最大の上海万博

後、択捉)を巡り、メドベドフ大統領が旧ソ連時代以来の最高指導者として初めて国後島を訪問するなど実効支配を主張するロシア政府と4島返還を要求する日本政府との方針に大きな隔たりがあることや講義でも取り上げた内部告発サイトのウイキリークス問題などメディアで大きく取り上げられた国際ニュースには多くの学生が関心を寄せた。激動のアジアを象徴するように北朝鮮の金正日主席の後継者問題や延坪島への砲撃による南北軍事対立など隣国の動きにも関心を持つ学生が多かった。スポーツ界では南アで開かれたサッカーのW杯で芸統的なサッカーを代表するスペインが初優勝、大会前の下馬評を覆して岡田ジャパンが海外のW杯で初のベスト16入りした快挙を11人があげた。このほか、チリ鉱山の落盤事故で33人が奇跡的な生存を果たしたニュースや民主党政権を巡って起きた国内の政治問題、民間人が参加した裁判員制度など社会の動きにも学生らが目を向けていた。

学業、ボランティアの成果を学会で発表

昨年11月20、21日に新潟県下で開かれた日本水泳・水中運動学会で本学から競技スポーツ学科の若吉浩二教授、白木孝尚講師、女子水球部の4年次生今田千紗都さんが参加し、それぞれの専門分野で発表された。

「地域活性とスポーツ」がテーマになった水泳・水中運動学会では、教員や大学院生らの発表が多いなかで、ポスター発表で注目を集めたのは、今田さんの「水球競技のルール改正に伴う指導者の意識調査」小学生の特別ルールについてだった。今田さんはゴールの大きさなどシニアとは違った特別なルールを採用している小学生の水球について指導者が練習内容や戦術に対する意識がどのようなのかを調査したうえでジュニア期の競技力向上の方策を検討した結果を発表した。

若吉教授は「有浮力水着が重心・浮心間距離およびびわ動作に及ぼす影響」を発表し、このユニークな研究の取り組みは日刊紙やテレビでも取り上げられた。また、白木講師は本学男子競泳選手を対象に研究した「クレンジングダウン泳中に行う超短時間激運動が血中乳酸除去に与える影響」をテーマに発表した。スポーツ開発・支援センターが参加した環びわ湖大学・地域コンソーシアム(12月11日開催)では、キッズプログラムのリーダーとして活躍する4年次生、斉藤直幸君が、地域連携事業に貢献する保育園・幼稚園のキッズプログラム巡回指導の成果を発表した。

就職状況の厳しいなかで 教採は好成績

厳しい雇用状況が続くなかで、今春卒業予定の5期生の進路状況は、教員採用試験合格者が急増するなど学生の頑張りが目立っている。

現役7人、既卒者16人のあわせて23人が難関といわれる2010年度の教員採用試験を突破した。学校スポーツコースの谷川尚己准教授を中心に昨春から取り組んでいる「特別対策講座」では、滋賀大教育学部元教授で滋賀県教委人事主事も務めた橋本源之助氏をキャリアアドバイザーとして熱心に聞いた。



校内企業説明会で説明を聞く学生たち

就職内定・進路合格者数一覧(2010年12月27日現在) (人)

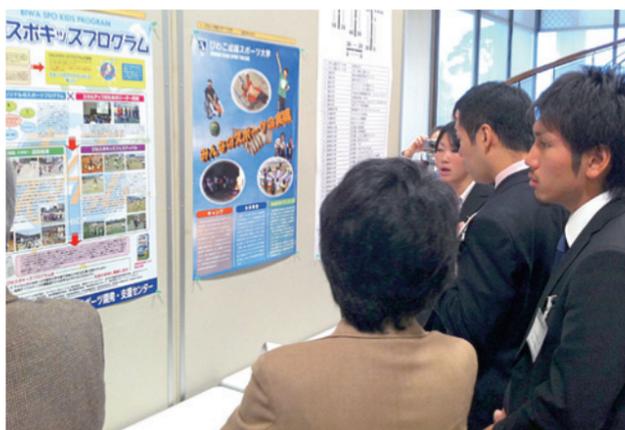
学科	コース	企業	教員	公務員	進学
生涯スポーツ	野外スポーツ	3	0	2	0
	地域スポーツ	16	1	1	3
	学校スポーツ	1	5	0	0
競技スポーツ	トレーニング・健康	25	0	4	2
	コーチング	18	0	3	2
	スポーツビジネス	20	0	2	0
	スポーツ情報戦略	18	1	2	0
合計		101	7	14	7

びわこ成蹊スポーツ大学

〒520-0503 大津市北比良1204番地
【代表】TEL:077-596-8410 FAX:077-596-8419 E-mail:jim@bss.ac.jp



JR比良駅から線路沿いに徒歩約15分。JR京都駅よりJR比良駅まで約40分。



環びわ湖大学・地域コンソーシアムの会場でキッズプログラムをPR